令和８年度第2回日野市指定管理者候補者選定委員会
議事録

1　概要

日　　時	令和８年8月14日（金）　14時00分から16時00分まで
場　　所	日野市役所本庁舎５階　507会議室
出　　席	【委員】奥住委員長（高齢者福祉・保健担当部長）、岡田副委員長（企画部長）、小松委員（総務部長）、長島委員（高齢福祉課長） 【応募事業者】公益財団法人　社会教育協会
事 務 局	（高齢福祉課）今村課長補佐、大日向主事 （企画経営課）西山課長、東瀬主査、山岸
議　　事	(1)　委員長・副委員長の選任 (2)　審査手順について (3)　日野市立湯沢福祉センター指定管理者の選定について ①　施設概要説明 ②　事業者よりプレゼンテーション・質疑 (4)　主管課質疑応答 (5)　委員意見交換 (6)　採点
記 録 作 成	（企画経営課）山岸
配 布 資 料	応募書類一式､採点表等審査資料一式

2　要点録

（1） 委員長・副委員長の選任

○　事務局

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である高齢者福祉・保健担当部長とした。

副委員長は互選により、企画部長とした。

（2） 審査手順について

○　事務局

本日の進行について説明。

（３） 日野市立湯沢福祉センター指定管理者の選定について

①　施設概要説明

○　施設所管課（高齢福祉課）

施設の概要及び運営方針等について説明。

■　委員

施設は高齢者が主対象にもかかわらず、多世代交流を重視する意図は何か。

○　施設所管課

法律上は老人福祉法の老人福祉施設だが、市条例上は高齢者に限らず子ども、障害者、その他市民の利用を前提としている。そのため、高齢者だけに限定せず、多世代交流を重視する採点基準としている。

■　委員

利用状況について伺いたい。また他の福祉センター施設と比べてどうか。

○　施設所管課

基本的には横ばいである。立地的な観点から、駅周辺の施設と比べると利用率は落ちる。ただし、周辺に公共施設がないため一定の利用者は見込まれている。

■　委員

古い施設だが、老朽化に伴う修繕等で困っている点、工夫している点などどのような状況か。

○　施設所管課

令和７年度に個別施設計画を策定。計画に基づき、エアコンは全面更新済みである。また屋上防水の予算を来年度計上予定である。今後も個別施設計画に基づき対応していく予定である。
また現状では大雨時の雨漏りに対しタオル等で一時的な対応をしていただいている状況もある。

②　プレゼンテーション及び質疑応答（公益社団法人　社会教育協会）

＜公益社団法人　社会教育協会入室＞

✧　公益社団法人　社会教育協会

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■　委員

提案事業の「湯沢寄り合いどころ」で若い世代を呼び込む仕掛けはあるか。

✧　公益社団法人　社会教育協会

過去にはこちらの呼びかけではなく明星大学の学生が自ら集まれる場所を探し、湯沢福祉センターの利用に行き着いた例がある。

SNS やインターネットで情報発信し、利用したい人が来られるようにしたい。
また昨年度三中地区アクションプランの中で明星大学も参加し、子ども向けプログラムを準備したり、庭で肉を焼いたり・豚汁づくり等の活動を一緒に実施した。不登校を抱えた子育て中のグループからも利用されている。

■　委員
収支計画提案書において、指定管理料の見込みが募集要項で示した提案参考額を上回っているが、参考額についてどのように評価した上で提案書を作成したのか。

✧　公益社団法人　社会教育協会
予算書には物価高騰等の変動が一定程度見込まれているものの、実際には最低賃金の引上げ等が毎年続いているため、将来的な上昇を予防的に見込んだ。業務経費の大半を占める人件費の変動を踏まえ、参考額よりもやや多めに提案している。
人件費については、フルタイムスタッフと必要な時間帯のみ勤務するアルバイトを組み合わせ、勤務を細分化すればある程度抑えられるが、そのような人材の確保が難しくなっている。一定時間まとめて勤務してもらう体制にすると、余剰となる人件費が生じるため、今回の提案額となった。
一方、経費を抑えるため、利用の少ない時間帯の早期閉館や、夜間利用が少ない実績を踏まえた運営時間の見直し等の工夫も必要と考えている。

■　委員
孤立した高齢者を減らすのは大事な観点だと思うが、一人で初めて来る方への対応のコツはあるか。

✧　公益社団法人　社会教育協会
広報や近隣団地からの誘いで来る方が多い。初めての方には各プログラム内容を説明し、「いつでも利用可能」「事前連絡不要」「当日参加可」と伝えている。見学後に継続参加する人や、イベントをきっかけにプログラム参加する人もいる。徐々に友人ができ、近隣在住であれば安心につながっていると感じる。

■　委員
施設の古さによる雨漏り等に対する現場の状況を伺いたい。

✧　公益社団法人　社会教育協会
大雨時などにはタオル等を敷くなど昔ながらの方法で対応している。利用者も心配しているが崩落などはなく危険は生じていない。担当部署へは頻繁に写真付きで状況報告し、危険箇所は見積りを取り修繕を相談している。現時点で市民に大きな迷惑はかかっていないと認識している。

■　委員
社会教育は人とのつながりを重視するが、情報・相談が特定職員に集中し、その異動により資源が途切れる懸念もある。情報の共有やマニュアル整備など何か工夫している点はあるか。

✧　**公益社団法人　社会教育協会**

日野市内の様々な分野の施設管理を受託しており、高齢者・子ども各分野で行政・地域と連携している。湯沢福祉センターの事案も職員間で共有し、他エリア情報も活用して対応策を検討している。団体として各分野の行政・地域とつながっているため、担当者が変わっても最低限の連携は維持していると考えている。

また月 1 回のスタッフミーティングで気になることを共有している。湯沢ここからネットも含め約 18 年かけて築いたつながりにより、可能な限り外へ出て地域と協力し、何かあったら湯沢福祉センターにも来てもらうという形で広がりを構築している。

■　**委員**

高幡台にオープンしたローソンとの連携の話はあるか。

✧　**公益社団法人　社会教育協会**

具体的連携の話はないが、日野市役所とテレビ電話でつながる設備があると聞いている。それを湯沢福祉センターの利用者にも紹介し、利用方法について質問が出た場合はローソン側とも連携していくこともあるかと思う。

（4）　主管課質疑応答

なし

＜施設所管課退室＞

（5）　委員意見交換

なし

（6）　採点

■　**委員長**

採点、提出いただき次第終了。

（閉会）